

第1章 沼津市商工業振興ビジョン策定の趣旨

1 ビジョン策定の目的

本市は、金属製品、生産用機械器具、電気機械器具、食料品等の製造業を主体とした工業、沼津駅の南北に連なる商店街や沼津港の飲食店街等に代表される商業・サービス業のほか、農業・水産業等の各産業がバランスよく集積した産業構造を有しており、静岡県東部地域の中心都市として位置づけられてきました。

本市の現状は、商業における年間商品販売額については、ピーク時である平成3年の1兆2,212億円に対し、平成28年には約68%の8,309億円に、また、工業における製造品出荷額等についても、ピーク時である平成2年の9,259億円に対し、平成30年には約69%の6,406億円となるなど、厳しい状況が続いています。

また、人口減少や少子高齢化の進行による労働力不足や国内需要の減少に加え、経済のグローバル化による国際的な競争への対応、AI(人工知能)やロボット技術などテクノロジーの進展への対応など、商工業振興に向けての課題は多様化してきています。

これらの社会状況の変化に加え、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内需要は冷え込み、その影響は今後も一定期間続くことが見込まれるなど、本市を取り巻く経済情勢は大きな転換点を迎えています。

このようなことから、本市経済の早期回復と、更なる商工業振興を図るため、商工業振興に係る課題を整理し、今後の施策の方向性を明らかにすることを目的として、「沼津市商工業振興ビジョン」を策定するものです。

2 ビジョンの構成

本市の最上位計画である「第5次沼津市総合計画」、本市が中小企業の振興に取り組む方向性を明らかにした「沼津市中小企業振興基本条例」の内容を踏まえ、本ビジョンの策定を行いました。

本ビジョンの構成としては、第5次沼津市総合計画に掲げる「まちづくりの柱3 力強い産業を牽引するまち」のうちの「商業の振興」、「工業の振興」、「新たな産業の創出」、「労働人材の確保と育成」の4つの視点に立ち、それぞれの視点・分野ごとに現状及び課題を分析した上で、市内経済の活性化と雇用の創出に向けた、施策展開の方向性や基本施策について示していきます。

また、現在、社会・経済情勢に大きな変化をもたらしている新型コロナウイルス感染症への対応についても示していきます。

3 計画期間・推進体制

本ビジョンの計画期間は、第5次沼津市総合計画の前期推進計画にあわせ、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

また、策定にあたっては、商工振興課・農林農地課・政策企画課・まちづくり政策課・まちづくり指導課・市街地整備課の6課で策定委員会を構成して、素案の検討を進めるとともに、附属機関である沼津市中小企業振興会議の審議を踏まえて、施策の方針を示しています。

施策の進め方については、本ビジョンの策定後も、沼津市中小企業振興会議の意見を定期的に伺うなど進捗管理に努めるとともに、支援機関や金融機関、県など

年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8～ (2026)	
第5次沼津市 総合計画 (前期推進計画)	策定	→					後期推進計画	→
沼津市商工業 振興ビジョン	策定	→					改訂	→

の関連団体と連携して、本市における商工業の振興を推進していきます。